



特殊電極株式会社まごころプロジェクトを通して 姫路イーグレッツとのコラボレーション



産報出版株式会社

2023/8/29



社名入りのユニフォームをはきんで矢野選手と岡村選手

特殊電極（兵庫県姫路市、西川善社長）は、女子バスケットボールチーム「姫路イーグレッツ」を支援している。同チームは兵庫県西部の播磨地域を拠点に活動しており、前シーズンに国内女子バスケのトップリーグであるWリーグに参入した。特殊電極は今年度中に姫路市の本社と工場を播磨地域の加古川市に移転予定で、姫路イーグレッツの支援を通して

地域との関わりを増やしたい考えだ。スポンサー契約によりユニフォームに社名が掲示されるほか、今年4月には本社と姫路の工場に選手2人ずつ、合わせて4人をスタッフとして迎え入れた。

日中は特殊電極で業務にあたり、就業後は練習に汗を流す。本社に所属する岡村優美さんと矢野凧紗さんは現在、怪我のためリハビリに取り組みつつ、総務課の業務に携わっている。

岡村さんは「仕事には学びが多く、人間的にも成長できることが多い。まずはリハビリを頑張っただけでも多く試合に出たい。プレー以外の部分

特殊電極 女子バスケ支援で社会貢献

地域交流図る、社員の運動機会創出も

でもチームをサポートしたい」、矢野さんは「会社では皆さんの応援を肌で感じるの、応援されたい。怪我からの復帰がシーズン開始に間に合うか分からないが、チームの一員として勝利に貢献したい」と意気込む。Wリーグは来年から成績に応じた2部制となるため、まずは上位の1部入りが目標だ。

姫路イーグレッツへの支援について特殊電極の西川社長は「女性の活躍の実現に向けた取り組みとして社会に貢献するとともに、社風への良い影響も期待したい」「社員の運動の機会創出も狙い。7月には社内運動会を初めて実施したが、姫路イーグレッツの選手にも参加いただき交流の場にもなった」と説明する。

これに関連して、必要な衣類を再活用する「古着deワクチン」プロジェクトに参加する。古着を開発途上に送って再活用する。古着deワクチンを寄付するもので、観戦に来たファンに古着の持参を呼びかける。今シーズンに5回開催されるホームゲームでの実施を計画する。同社はこのほどユニフォームをリニューアルしており「着なくなった作業着もただ廃棄するのではなく、社会的な発展の一助となるよう活用していきたい」と話す。

同社はこのほかにも社会貢献活動の一環として、障がい者雇用を支援する「トクでんファーム」を運営。千葉県八千代市の貸し農園で4人の障がい者が、同社の一員として野菜づくりに取り組んでいる。



姫路イーグレッツ
@himeji_egrets

スポンサーの特殊電極（株）様にお世話になっている#12 岡村優美と#25 矢野凧紗が溶接ニュースという業界紙に掲載されました。

ホームゲームでは、姫路イーグレッツと特殊電極（株）様とのコラボで「古着deワクチン」というイベントを開催します！

みなさんも是非ご協力ください



特殊電極株式会社 まごころプロジェクト

古着deワクチン まごころプロジェクト詳細はこちら
<https://furugidevaccine.etsl.jp/btob/>

